

## 「活用」の力を育てる評価問題

### 小3 国語 話し合って決めよう 「わたしたちの学校行事」

## 評価問題例

田中さんのグループでは、前の週に行われた「大なわ大会」について新聞を作ることになり、どのようなことを書けばいいか、話し合いました。話し合いでは、山田さん、林さんからつぎのような意見がありました。二人の意見を比べて、おなじところと、ちがうところを答えましょう。

<山田さん>  
ぼくは、みんなが大なわをとんでいるところを絵にかけばいいと思います。なぜかという、みんなが楽しんでるようすが分かるからです。

<林さん>  
わたしもみんなが楽しんでるようすを伝えたいと思います。でも、そのためには、絵をのせるよりも、みんなの感想を言葉で書いた方がいいと思います。

おなじところ  
ちがうところ

## 評価問題のポイント

本単元の指導事項の一つである「互いの考えの共通点や相違点を考える」ことについて問う問題である。問題では、話し合いの話題を説明した後、共通点と相違点を含んだ2人の意見を示し、2つの意見を比べて、「おなじところ」「ちがうところ」を記述によって答えることを求めている。

児童は、第3時の学習で、教科書の例をもとに話し合いの場面を演じることで、発言の仕方や話し合いの進め方・留意点を詳しく学んでいる。評価問題では、そこで理解したことを違う話題に当てはめて考えたり、判断したりできるかを評価したい。

評価問題に取り組みさせる際には、2人の意見を音読させるなど、児童が題意を十分とらえられるように配慮したい。また、解答の仕方についても、「○」などの記号を使って箇条書きで簡潔に答えるよう、あらかじめ指導しておくようにしたい。